

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 昭和電線ホールディングス株式会社

コード番号 5805 URL <http://www.swcc.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 相原 雅憲

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部IR・広報グループ長 (氏名) 菅井 幹夫

TEL 03-5404-6951

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	123,881	△2.0	△96	—	△1,577	—	△1,582	—
24年3月期第3四半期	126,376	4.8	716	△48.9	△453	—	△1,476	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △2,064百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △1,583百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△5.14	—
24年3月期第3四半期	△5.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	139,612	39,179	27.7
24年3月期	143,498	41,778	28.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 38,639百万円 24年3月期 40,692百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	△1.0	800	△58.9	△800	—	△800	—	△2.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	308,268,611株	24年3月期	308,268,611株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	106,431株	24年3月期	101,940株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	308,164,352株	24年3月期3Q	274,923,008株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成24年8月8日に公表した平成25年3月期通期連結業績予想につきましては、平成25年2月12日付の「平成25年3月期 通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」において公表しました内容を記載しております。
2. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要など国内需要の底堅さがみられるようになったものの、中国をはじめとする新興国の成長鈍化や世界景気の減速、長期化する円高など、先行き不透明感が強まる傾向で推移しました。しかしながら、新政権発足後、円高の是正や経済対策効果の期待から、一部に下げ止まりの兆しもみられるようになりました。

電線業界においては、建設・電販向けの需要は引き続き堅調に推移しましたが、依然として、電力、電気機械、通信、輸出分野は低迷が続き、厳しい環境で推移しました。

このような環境下、当社グループの第3四半期連結累計期間の連結売上高は1,238億81百万円（前年同四半期対比2.0%減）となりました。損益面では、営業損失は96百万円（前年同四半期は7億16百万円の営業利益）、経常損失は15億77百万円（前年同四半期は4億53百万円の経常損失）、四半期純損失は15億82百万円（前年同四半期は14億76百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(電線線材事業)

首都圏の再開発物件や病院等の耐震補強案件を中心に建設・電販向けの需要が堅調に推移したことから、売上高は489億84百万円（前年同四半期対比2.5%増）、営業利益は16億52百万円（前年同四半期対比4.7%増）となりました。

(電力システム事業)

国内電力向けの需要低迷や輸出案件の出荷が減少したことから固定費削減を進めましたが、売上高は302億41百万円（前年同四半期対比1.4%減）、営業損失は13億96百万円（前年同四半期は7億74百万円の営業損失）となりました。

(巻線事業)

高機能製品に使用される細物平角線等は堅調に推移しましたが、重電向けに加え、自動車用電装品向けも減産の影響を受け、売上高は149億25百万円（前年同四半期対比12.7%減）、営業損失は75百万円（前年同四半期は2億82百万円の営業利益）となりました。

(コミュニケーションシステム事業)

LANケーブルやネットワークソリューション関連製品は回復の傾向が見られましたが、依然として国内通信ケーブルの需要は低調に推移したことから、売上高は143億48百万円（前年同四半期対比10.9%減）、営業損失は4億93百万円（前年同四半期は3億84百万円の営業損失）となりました。

(デバイス事業)

ワイヤハーネスや精密デバイス（ローラ）の海外生産は堅調に推移するとともに、受注が拡大する建築用免震装置の製造も高負荷が継続していることから、売上高は138億50百万円（前年同四半期対比5.4%増）、営業利益は5億58百万円（前年同四半期対比23.7%増）となりました。

(その他)

売上高は15億32百万円（前年同四半期対比4.1%減）、営業損失は2億71百万円（前年同四半期は3億71百万円の営業損失）となりました。

注. 上記、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含めておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,396億12百万円（前連結会計年度末総資産1,434億98百万円）で、主に受取手形及び売掛金が減少したため、前連結会計年度末より38億86百万円減少しております。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,004億32百万円（前連結会計年度末負債合計1,017億19百万円）で、主に支払手形及び買掛金が減少したため、前連結会計年度末より12億87百万円減少しております。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は391億79百万円（前連結会計年度末純資産417億78百万円）で、前連結会計年度末より25億99百万円減少しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績および第4四半期に主要材料である銅や石化製品の値上がりの影響が見込まれることから、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想を下回る見込みとなりました。

なお、収益性の低い事業につきましては、中期経営計画「GROWTH 2014」に基づき、事業基盤の再構築に向けた具体的な施策を実施し、個々に改善の効果が現れてきています。次年度に向けては、更に改善の取り組みを加速させるべく抜本的な追加施策を講じてまいります。

詳細につきましては、本日（平成25年2月12日）公表いたしました「平成25年3月期 通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	166,000	1,700	100	100
今回修正予想(B)	170,000	800	△800	△800
増減額(B-A)	4,000	△900	△900	△900
増減率(%)	2.4	△52.9	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	171,780	1,945	693	162

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社につきましては、該当事項はありません。

なお、特定子会社以外の子会社の異動につきましては、以下のとおりであります。

(連結の範囲の変更)

当第3四半期連結会計期間より、新たに設立した杭州昭和機電製造有限公司を連結の範囲に含めております。また、杭州富通昭和線纜配件有限公司については、当第3四半期連結会計期間において出資持分の一部を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。なお、譲渡日を当第3四半期連結会計期間末とみなして、損益計算書のみ連結損益計算書に含めております。

(持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結会計期間より、出資持分の一部を譲渡した杭州富通昭和線纜配件有限公司を持分法適用の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,446	7,092
受取手形及び売掛金	50,724	46,985
たな卸資産	18,984	20,263
その他	4,262	4,355
貸倒引当金	△242	△198
流動資産合計	81,174	78,498
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,039	13,490
機械装置及び運搬具（純額）	6,278	6,081
土地	24,482	24,398
その他（純額）	1,524	1,940
有形固定資産合計	46,324	45,911
無形固定資産	2,428	2,048
投資その他の資産		
投資有価証券	6,439	6,716
その他	7,634	6,925
貸倒引当金	△503	△488
投資その他の資産合計	13,570	13,153
固定資産合計	62,323	61,113
資産合計	143,498	139,612
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,352	22,993
短期借入金	43,654	42,633
未払法人税等	408	226
工事損失引当金	3	12
災害損失引当金	2	—
その他	10,789	10,676
流動負債合計	79,210	76,543
固定負債		
長期借入金	14,333	15,092
退職給付引当金	686	678
役員退職慰労引当金	95	108
その他	7,394	8,009
固定負債合計	22,509	23,888
負債合計	101,719	100,432

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,221	24,221
資本剰余金	11,035	11,035
利益剰余金	603	△1,294
自己株式	△12	△13
株主資本合計	35,848	33,949
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	556	348
繰延ヘッジ損益	—	30
土地再評価差額金	5,023	5,031
為替換算調整勘定	△735	△718
その他の包括利益累計額合計	4,844	4,690
少数株主持分	1,085	539
純資産合計	41,778	39,179
負債純資産合計	143,498	139,612

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	126,376	123,881
売上原価	112,554	110,874
売上総利益	13,822	13,007
販売費及び一般管理費	13,105	13,103
営業利益又は営業損失(△)	716	△96
営業外収益		
受取利息	15	12
受取配当金	133	127
その他	202	158
営業外収益合計	351	298
営業外費用		
支払利息	836	779
持分法による投資損失	33	85
為替差損	257	136
補修工事費用	—	485
その他	394	291
営業外費用合計	1,522	1,780
経常損失(△)	△453	△1,577
特別利益		
受取補償金	—	99
固定資産売却益	61	29
負ののれん発生益	128	—
特別利益合計	189	129
特別損失		
減損損失	—	76
製品補償損失	696	—
和解金	478	—
災害による損失	87	—
その他	57	185
特別損失合計	1,320	262
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,585	△1,710
法人税等	156	189
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,742	△1,900
少数株主損失(△)	△265	△317
四半期純損失(△)	△1,476	△1,582

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,742	△1,900
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△365	△208
繰延ヘッジ損益	0	30
土地再評価差額金	671	—
為替換算調整勘定	△127	18
持分法適用会社に対する持分相当額	△19	△4
その他の包括利益合計	158	△164
四半期包括利益	△1,583	△2,064
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,301	△1,744
少数株主に係る四半期包括利益	△281	△319

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注)1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注)2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 (百万円)
	電線線材 事業 (百万円)	電力システ ム事業 (百万円)	巻線事業 (百万円)	コミュニケ ーションシ ステム事業 (百万円)	デバイス 事業 (百万円)				
売上高									
外部顧客へ の売上高	47,769	30,661	17,093	16,109	13,144	1,597	126,376	—	126,376
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	15,034	771	824	1,503	271	7,324	25,729	△25,729	—
計	62,803	31,432	17,917	17,613	13,416	8,922	152,106	△25,729	126,376
セグメント利 益又は損失 (△)	1,577	△774	282	△384	451	△371	780	△64	716

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流業、事務管理業務、超電導線事業の製造販売を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△64百万円には、のれんの償却額△66百万円などを含んでおります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(海外売上高)

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高 (百万円)	14,391	686	15,078
II 連結売上高 (百万円)	—	—	126,376
III 連結売上高に占める海外売上高 の割合 (%)	11.4	0.5	11.9

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域
アジア………カタール、中国、クウェート等

3 海外売上高は、当社および連結子会社の日本以外の国または地域における売上高であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注)1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注)2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 (百万円)
	電線線材 事業 (百万円)	電力システ ム事業 (百万円)	巻線事業 (百万円)	コミュニケ ーションシ ステム事業 (百万円)	デバイス 事業 (百万円)				
売上高									
外部顧客へ の売上高	48,984	30,241	14,925	14,348	13,850	1,532	123,881	—	123,881
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	13,545	867	538	1,435	572	7,767	24,726	△24,726	—
計	62,529	31,108	15,463	15,783	14,423	9,299	148,608	△24,726	123,881
セグメント利 益又は損失 (△)	1,652	△1,396	△75	△493	558	△271	△26	△69	△96

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流業、事務管理業務、超電導線事業の製造販売を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△69百万円には、のれんの償却額△56百万円を含んでおります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「デバイス事業」および「その他」において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「デバイス事業」で62百万円、「その他」で13百万円でありま

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(海外売上高)

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高 (百万円)	14,447	203	14,651
II 連結売上高 (百万円)	—	—	123,881
III 連結売上高に占める海外売上高 の割合 (%)	11.7	0.2	11.8

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域
アジア………中国、シンガポール、カタール等

3 海外売上高は、当社および連結子会社の日本以外の国または地域における売上高であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

株主資本の金額の著しい変動に関する事項

当社は、平成23年9月8日付で、富通集団（香港）有限公司から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結会計期間において資本金および資本準備金が2,999百万円それぞれ増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が24,221百万円、資本剰余金が11,035百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （百万円）	1株当たり 配当額 （円）	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	308	1	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金